

製品名: GFAP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00038**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 50 kDa; Observed MW: 50 kDa

抗原情報

遺伝子名	GFAP
別名	GFAP; FLJ45472; cb345; ALXDRD
遺伝子 ID	2670
SwissProt ID	P14136
免疫原	ヒト GFAP の合成ペプチド

背景

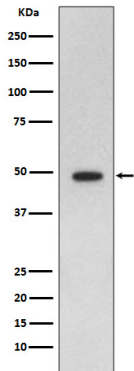
GFAP は、アストロサイト由来の頭蓋内および脊髄内腫瘍のマーカーとして一般的に用いられています。さらに、GFAP 中間径フィラ

メントは、末梢神経系のミエリン非形成シュワン細胞にも存在します。

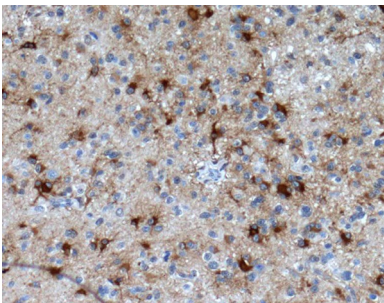
研究分野

神経科学

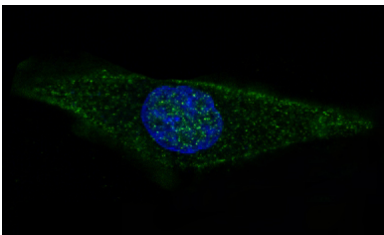
画像データ



GFAP 抗体を使用したラット脳溶解物中の GFAP のウエスタンブロット分析。



GFAP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト神経膠腫の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



GFAP 抗体を用いた SH-SY5Y 中の GFAP の免疫蛍光分析。